

|             |  |                                   |  |   |
|-------------|--|-----------------------------------|--|---|
| 科目名         | <b>心理学</b>   |                                   | 科目分類   | <input checked="" type="checkbox"/> 基礎教育科目 <input type="checkbox"/> 専門教育科目<br><input type="checkbox"/> 卒業必修 <input type="checkbox"/> 栄養士必修 <input checked="" type="checkbox"/> 選択 |
| 英文表記        | <b>Psychology</b>  |                                   | 開講年次   | <input type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年  |
| ナンバリング      | <b>BE220E</b>  |                                   | 開講期間   | <input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中  |
| ふりがな        | せと ひろし   | 授業形態・修得単位                         | <b>講義・2単位</b>  |   |
| 担当教員名       | 瀬戸 泰   | 実施方法                              | <input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ<br><input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用 |   |
|             |  | 実務家教員担当科目                         | ○  |   |
| 授業のテーマ      | <p>同じ経験をして、「楽しい」と感じたり「つまらない」と感じたり、人によって感じ方が異なるのはなぜでしょうか。また、幼い頃の親子関係や成育歴はどのように心に影響を及ぼすのでしょうか。このように、心理学は私たちの生活と結びついている「心」と「行動」の働きや法則性を検証していく学問です。本授業では、心理学に関する代表的な理論や考え方を学び、自身の心についても理解を深めていくことをテーマにします。</p> |                                   |  |   |
| 授業概要        | <p>座学を中心に、心理学の主な分野について説明します。単に知識を紹介することにとどまらず、心理学をいかに日常生活に活かしていくかという視点から授業を進めていきます。</p> <p>なお、担当教員は、学生相談のカウンセラー等として、相談援助等に携わってきました。そのような具体事例を織り交ぜつつ、分かりやすく説明をしていきたいと思えます。</p>                              |                                   |  |   |
| 到達目標        | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心理学の歴史や心理学という学問の概要について理解し、説明できる。</li> <li>2. 人の心の基本的な仕組みおよび働きについて概説できる。</li> <li>3. 学習した内容を、自らの心や日常生活の様々な場面で当てはめて確認・活用できる。</li> </ol>                            |                                   |  |   |
| 授業時間外の学習    | <p>学習内容の定着を図るため、毎回、復習を行うようにしてください。</p> <p>学んだことを、自らの経験や日常生活の中で意識的に当てはめ、考察・活用できるよう努めてください。</p>  |                                   |  |   |
| 履修条件        | 心理学のエッセンスを基礎から学ぶため、履修のための条件はありません。   |                                   |  |   |
| <b>授業計画</b> |  |                                   |  |   |
| 第1回         | テーマ： イントロダクション   | (授業の概要、心理学とは、心理学の三大潮流)            |  |   |
| 第2回         | テーマ： フロイトの心理学  | (精神分析学、局所論と構造論、無意識と抑圧、防衛機制)       |  |   |
| 第3回         | テーマ： 交流分析①   | (精神分析の口語版、エゴグラム、交流パターン)           |  |   |
| 第4回         | テーマ： 交流分析②   | 〔心の栄養〕としてのストローク、心理ゲーム)            |  |   |
| 第5回         | テーマ： 学習心理学   | (心理学なのに心を扱わない？ 2つの条件付け)           |  |   |
| 第6回         | テーマ： 認知心理学   | (人の心をコンピュータのように理解する、感覚・知覚・認知)     |  |   |
| 第7回         | テーマ： 健康心理学   | (心身相関、ストレスと健康)                    |  |   |
| 第8回         | テーマ： パーソナリティ心理学①   | (自分や他者の性格傾向、アセスメント、性格は遺伝か環境か)     |  |   |
| 第9回         | テーマ： パーソナリティ心理学②   | (バウムテスト&カラーージュ療法を体験する))           |  |   |
| 第10回        | テーマ： 社会心理学①  | (同調行動、服従、社会的役割)                   |  |   |
| 第11回        | テーマ： 社会心理学②  | (対人魅力、恋愛)                         |  |   |
| 第12回        | テーマ： 発達心理学   | (発達とは、人間性の発達と親子関係、やっぱり愛情は大切だ)     |  |   |
| 第13回        | テーマ： 発達心理学   | (発達プロセスと発達課題)                     |  |   |
| 第14回        | テーマ： 発達心理学   | (映画を通して考える発達)                     |  |   |
| 第15回        | テーマ： 臨床心理学   | (心理学を応用して心のケアに役立てる、アセスメント、主な心理療法) |  |   |
| 第16回        | 定期試験   |                                   |  |   |
| テキスト        | 毎回、講義用レジュメを配布します。  |                                   |  |   |
| 参考文献・資料     | 二宮克美ほか 『エッセンシャルズ心理学 (第2版)』 (福村出版、2021年)  |                                   |  |   |

|                 |   |
|-----------------|---|
| 成績評価の方法         | 毎回のコメントシート 60%、試験 40%<br>※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。  |
| 成績評価基準          | 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)  |
| オフィスアワー         | 月曜日もしくは火曜日の 10:30 ～ 12:00<br>※上記以外の時間帯でも、研究室に在室中であればお声がけください。 <a href="mailto:seto@nau.ac.jp">E-mail : seto@nau.ac.jp</a> |
| 受講生に望むこと・受講のルール | 心理学は、心と行動に関する研究に基づいた学問であり、「占い」や「ゲーム」のようなものではありませんので、「思っていたものと違う、、」とならないよう、その点を予め理解したうえで受講するようにしてください。                     |